

ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度

取組内容一覧

会社名 公益財団法人 モラロジー道德教育財団		
取組番号	タイトル	具体的な内容
2	仕事と家庭の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の職員が安心して働けるための事業所内保育所を設置 ・子育て中の職員のための柔軟なテレワーク制度を導入 ・育児や介護のために職員が休暇や休業を取得しやすい環境を整備 ・子育て中や要介護者のいる職員のための短時間勤務制度を整備 ・年次有給休暇の積極的な取得を推進
3	「親カフェサロン」	<p>家庭教育支援の一環として、お子さんのいる職員や近隣の保護者を対象とした「親カフェサロン」を年10回開催（無料）。</p> <p>子育てに役立つ情報の提供や子育て相談など、子育て中の職員・保護者の憩いの場づくりを行っている。</p>
6	福祉介護職）インターンシップ	<p>当財団が行う高齢者介護事業のうち、サービス付き高齢者向け住宅「麗しの杜 光ヶ丘」デイサービスセンターでは、福祉分野に関心を持つ中学生および高校生のインターンシップを受け入れている。</p>
7	「道德」出前授業	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の小学生・中学生・高校生を対象とした「道德出前授業」プログラムを実施（無料、児童：45分間、生徒：50分間）。 ・教材をもとに、「三方よし」（自分よし、相手よし、第三者または社会よし）の視点から多面的・多角的に考え、話し合い、自己の生き方を思索し、明日への行動を考えさせることにより、児童・生徒の変容を促す「学んで得する道德教室」を開催している。 <p><文部科学省「土曜学習応援団」に登録></p>

9	廣池千九郎記念館の見学	<p>全国の中学生・高校生を対象とした「道徳」について学ぶ60分間の学習プログラム（無料）。</p> <p>日本の道徳教育の先駆者であり、当財団および麗澤大学の創立者・廣池千九郎の事跡を紹介する記念館を見学し、不確実な時代を生き抜くための「道徳」について中高生の学びを深める。</p> <p><文部科学省「土曜学習応援団」に登録></p>
9	「家族のきずな」エッセイ募集	<p>毎年5月～6月、東葛5市（柏・我孫子・鎌ヶ谷・流山・松戸）の小学校5年生を対象に「家族のきずな」をテーマとしたエッセイを募集。</p> <p>10月には入賞・入選作品の発表と表彰式「家族のきずなエッセイ表彰式」を開催している。</p> <p>平成15年より開催し、応募総数は8万編を超える。</p>
9	盆踊り大会	<p>毎年8月上旬の週末、当財団内の敷地を活用した盆踊り大会を開催。職員有志が企画・運営を行い、職員の家族をはじめ、近隣の町会や住民、園児・小・中・高・大学生および保護者も多数参加。地域に開かれた盆踊り大会として30年以上の歴史がある。</p>
10	サタデーモラル（サタモラ）	<p>時代が変化し、社会や家族のあり方も多様化する中で始まった「道徳の教科化」——。学校の先生方も戸惑いながら授業を行っているのが現状です。</p> <p>そうした中、「サタデーモラル」（サタモラ）は、ZoomとYouTubeを併用して配信し、教育時事を広く伝え、グローバルな視点で地球を俯瞰。広い視野をもって日々の授業のヒントを提供し、道徳教育の取り組みをタイムリーに紹介していきます。</p> <p><配信日時> 隔週土曜日 12:30～13:00 に動画を配信（無料） （第2・第4土曜日）</p>
<p>連絡先</p> <p style="text-align: center;">公益財団法人 モラロジー道徳教育財団</p> <p style="text-align: center;">社会連携部 事務局 TEL: 04-7173-3181 E-mail: sharen@moralogy.jp</p>		

上記の取組の二つ以上に取り組んでいる本店や支店・事業所等の合計数	1 か所
----------------------------------	------